

連携いいわい

総看護師長あいさつ

総看護師長 小田島 淳子



4月から磐井病院に着任いたしました小田島淳子と申します。6年ぶりの急性期病院の著しい変化に驚きつつ、再度脳をリフレッシュさせスタートいたしました。

当院の第一印象は、「チーム医療を推進していく中で、共に育んでいく“学び”の文化が醸成されている」ということです。このことが患者さんやご家族により近い目線で実践され、その成果を感じ、共有する機会を楽しみにしております。

さて、少子高齢社会に対応し医療・社会保障の仕組みは、保健・医療・福祉が一体となりながら健康な社会を目指す地域包括ケアシステムに大きくかじを切りました。その様ななか、命の誕生から最後の時を迎えるその時まで「尊い命」により深くかわる看護を特徴としている当院では、「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」（日看協）のビジョンのもと実現に向けた今年度のキーワードを“看護のたすきでつなぐ笑顔”としています。キーワード「つなぐ」を軸に「これまで」を振

り返りながら、磐井病院の「これから」を考えてみました。

その1：ボランティア「ばっきゃの会」「こころば」の皆様の活動が10周年を迎えました。その活動は外来での患者さんのサポート、小児科・緩和ケア病棟での行事、がん患者さんのサロン、屋上庭園の手入れなど多岐に渡ります。病院と地域の架け橋になっていただいているボランティアの皆様の精神性の高さや心の温かさに、衷心より感謝申し上げます。これまで築かれた地域との絆をより深化させ、強いものにしていきたいと思ひます。

その2：「赤ちゃんに優しい病院」を目指し、母乳育児の10か条をもとに赤ちゃんがすくすく育つよう医療チームで支援がはじまりました。また7月からは、退院支援部門が4人体制となり退院後の生活を共に考え、専門職種の皆様と連携し、患者さんが「笑顔で退院」できるように活動をはじめました。これまで以上に地域の皆様と「対話」する機会をもち、「顔の見える関係」を深めていきたいと思ひます。

その3：10領域13名の認定看護師、専門看護師がチーム医療の要として活動しています。院内活動の他、学校・保育所・公民館・施設などで講座の開催や、生活習慣病の予防に関すること、癌、乳がん、疼痛緩和、糖尿病、感染、皮膚排泄（褥瘡）、救急看護などの相談も受けています。お気軽にお声をかけてください。

『学ぶということの証は何かが変わること。』と言われる。職員一人一人が自分を磨いていくことは、専門職業人としての持てる力や患者さんご家族への思いを体現できる自分づくりをすることにつながっていくことだと思ひております。私自身も新たな組織で共に働く仲間の皆さんと語り合い、感謝しながら、真摯さを持って『看護のたすき』をつないでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

目次

- 総看護師長あいさつ……………1 ページ
- 栄養管理科の紹介……………2 ページ
- 新任医師の紹介……………2 ページ
- 退院支援室の紹介……………3 ページ
- 平成28年度自治体立優良病院表彰の受賞……………3 ページ
- イベント・催事のご案内……………4 ページ
- 紹介率・逆紹介率の状況……………4 ページ

栄養管理科の紹介

栄養管理科長 馬場 美喜

栄養管理科は管理栄養士7名、調理師24名、調理手5名の総勢36名の大所帯で、給食管理及び栄養管理業務を担っています。給食管理業務は、磐井病院と南光病院の一般食・特別食の提供を行っています。患者様の状態に合わせ、ゼリー・刻み・ミキサー状などに食形態も調整しています。入院食は、治療の一環となります。

安全で美味しく召し上がっていただき、さらに療養中の楽しみとなり得るよう、栄養管理科スタッフ一同で努力しているところです。季節を感じていただける行事食及び調理工夫。朝食においては、洋食メニューの選択。月に2回、調理師考案で趣向を凝らした特別メニューも実施しています。その他、県産食材を用いた‘いわて食財の日’を設定しています。今年6月からは岩手県の取り組みである‘いわて減塩・適塩の日’を毎月28日に設け、美味しく減塩できるメニューを提供し、減塩への理解を深めていただきたく実施しています。現在、岩手県では脳卒中死亡率ワースト1脱却！！を目指し、活動中です。また、緩和ケア病棟においては、ボランティアの皆さんと月に1回ティーサービスを行い、手作りスイーツを提供し喜ばれています。

栄養管理業務は、他職種連携により入院患者様の栄養評価、栄養管理計画を作成し、入院中の患者様個々に合せた栄養管理をNST専従管理栄養士中心に行っています。また、家庭における食事療法の支援として、入院及び外来共に、栄養食事指導にも力を入れています。平成28年1月からは地域連携の一環として、地域連携栄養指導を開始しました。初めての試みのため、糖尿病限定とし、開業医の先生方からご依頼を受けています。

新たな取り組みを加えながら、患者様に寄り添う栄養管理科を目指し、日々、大奮闘しています。



【緩和ティータイムサービス】



新任医師の紹介

6月1日から産婦人科の医師として着任した医師をご紹介します。

【プロフィール】

- ・氏名：西本 光男 (にしもと みつお)
- ・出身地：大阪府
- ・出身大学：岩手医科大学 (H16年卒)
(教室) (東北大学産婦人科教室)
- ・所属学会：日本産婦人科学会産婦人科専門医・指導医
(専門医等) 日本周産期新生児医学会母胎・胎児専門医
母体保護法指定医
- ・専門分野：周産期医学・生殖医学
- ・ひとこと：よろしくお願ひします。



退院支援室の紹介

退院支援専従看護師 高橋 里

当院では、平成 28 年 6 月より退院支援室を設置しました。退院支援部門：専従看護師 1 名、専任社会福祉 1 名、専任看護師 2 名で指導し、平成 28 年 9 月より看護師 1 名増員し、現在計 5 名でそれぞれ病棟を担当しながら、入院患者さんの退院や転院への支援を行っています。

入院中の患者さんの中には「ずっと病院へおいてほしい」「退院と言われても家は無理です」「家に帰りたいけど心配です」と難渋するケースも多く、病状や家族状況で必ずしも希望に添うことが出来ない場合もあります。その中でも医師、看護師、MSW、リハビリ部門などと情報共有し、思いを傾聴しながら奮闘している毎日です。

当院の機能から在院日数の短縮化や DPC、医療の高度化、医療依存度の高い患者の増加に加え、少子超高齢化社会、認知症の増加、老々介護、認々介護、独居、高齢世帯など時代背景からも退院支援は大きな役割を担っていると考えます。

入院後早い段階から退院後の生活を見据え、生活の場に帰るにはどうしたらよいかを考え、安心して退院出来るよう支援していきたくと思っています。当地域の高齢化率は、すでに 30% を超え、2025 年には 37% を超える予測です。当院だけでは完結できない時代であり、地域の病院、ケアマネージャーさんや訪問看護師さんの協力をいただきながら支援をしていきたいと思っておりますのでご協力お願いいたします。

退院支援室には人生経験豊富な人材が揃っております。退院に関することなどお気軽にお立ち寄り下さい。今後ともよろしくご協力いたします。



平成28年度自治体立優良病院表彰の受賞

院長 加藤 博孝

この度磐井病院が、全国自治体立優良病院表彰（両協議会会長表彰）を受賞しました。当院の職員の頑張りが評価され大変嬉しく思います。

当院は、昭和 24 年（1949 年）に、広域中核病院として設立され、設立 67 年になります。2006 年には、315 床の現在の病院に新築移転し、同時に電子カルテを導入して 10 年が経過しました。当院の DPC 病院Ⅲ群の「機能評価係数Ⅱ」は、2014 年度、2015 年度 2 年連続トップで、今年は 7 位でした。これは、職員のたゆまない努力と、電子カルテがなくてはできないことでした。このような点も評価いただけたのではないかと考えております。

このような荣誉ある賞をいただきましたのも、地域医療の各機関・施設のご協力あってのものであります。関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

今後とも、患者様のご紹介等引き続きよろしくお願いいたします。

～両院協議会会長表彰～

全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会の両会長による表彰で、各都道府県組織の推薦をもとに、経営努力による経営の健全性が確保されており、かつ、地域医療の確保に重要な役割を果たしている病院に対して表彰するもの。



イベント・催事のご案内

10月17日(月)

岩手緩和ケアテレカンファランス (症例担当：県立中央病院)

場所：磐井病院多目的会議室 (テレビ会議システム)

時間：18:30~19:30

11月6日(日)

「一関市医療と介護の連携連絡会」研修会

場所：一関保健センター 多目的ホール

時間：14:00~16:00

対象者：医療関係者及び一般市民

テーマ：「歩ける幸せをいつまでも 一高齢者の骨折について」

11月17日(木)

磐井病院がん患者・家族サロンこころぼ

よろず講演会 「新しい抗がん剤について」

講師：東北大学病院腫瘍内科 下平 秀樹 先生

磐井病院薬剤科 村上 正美 氏

時間・場所：14時~15時30分 磐井病院2F 多目的会議室

11月21日(月)

岩手緩和ケアテレカンファランス (症例担当：県立中部病院)

場所：磐井病院多目的会議室 (テレビ会議システム)

時間：18:30~19:30

12月10日(土)・11日(日)

第9回両磐地域緩和ケア医療従事者研修会

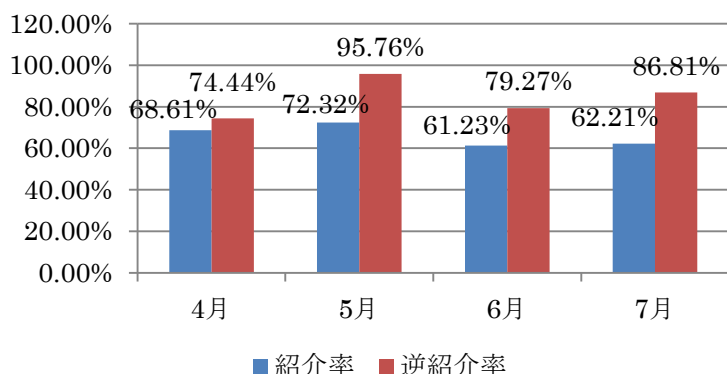
磐井病院2F 多目的会議室

紹介率・逆紹介率の状況

(平成28年4月~7月)

当院は、平成25年10月に地域医療支援病院の指定を受けており、紹介・逆紹介率は地域病院との連携状況を測る指標となっております。

今後とも患者様のご紹介についてどうぞよろしくお願いいたします。



今後とも磐井病院をよろしくお願いいたします。



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字大平17

電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691

連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室

病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>

公式 Facebook：<http://www.facebook.com/iwaihp>